

2年生学年通信

平成30年2月13日(火)
島本町立第二中学校
2年生学年グループ
No. 8

学年目標：①「じりつ」した人になろう ②授業を大切にし、自分の生き方を考えよう
③自分と仲間を大切にすることを伝え合おう

～学校教育自己診断（アンケート）の結果より～

3学期に入り、島本二中でもインフルエンザによる欠席者が増え、2年生でも学級閉鎖のクラスが出ました。ようやく2月に入り少し落ち着いたように感じます。

先日、学校だよりで学校教育自己診断について学校全体の結果を紹介いたしました。アンケート結果を2年生の教師でも話し合いました。この学年だよりでは全体の結果と2年生のアンケート結果を比べてお伝えしたいと思います。

1. 生徒のアンケートより

学校全体の結果と比べ、数値が低かった項目には以下の①～⑤の項目がありました。

- ①学校に行くことが楽しい。
- ②先生は学習に興味や関心を持たせる指導をしている。
- ③学校では、自ら進んで学習（宿題、予習・復習、自主学習など）している。
- ④授業や様々な学校での活動の中で、自分の生き方（自分らしさ、他の人や社会とのかかわり、進路など）について考える機会がある。
- ⑤学校は、いじめ防止や早期発見の取組を進めている。



① 保護者からのご意見でも、「クラブ活動があるから行っているけれど、普段の勉強が解らないので行きたくない感じ。」というものもありました。②にも関わってきますが、「わかる授業」が大切であると考えます。教師の授業作りへの努力を今後も継続してまいります。又、「授業の大切さ」を生徒のみなさんと確認する機会が必要だと思えます。ご家庭でも今一度お話しいただければと思います。

③ 2年生になり、数学の「週末宿題」や国語の「家庭学習ノート」などの課題が定期的に出されています。気になるのはそれをしっかり家庭で取組み、提出できているかです。まずはその意識付けへの指導に力を入れていきたいと思えます。

④ 2学期に職場体験を実施し、3学期には進路学習に取り組めます。比較的、取り組みの機会が多いのが2年生です。⑤に関しても、日常生活での関わりや「生活いごちアンケート」の実施、各学期ごとにいじめ防止に関わる授業を定期テスト後に行ってきました。その意義をより丁寧に確認して、今後もひとつひとつ大切に始めていきたと考えています。

2. 保護者のアンケートより

学校全体の結果に比べ、数値が低かった項目には以下の①～③の項目がありました。

- ①子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。
- ②学校は、家庭学習の習慣がつくよう取組を行っている。
- ③学校では、読書活動に積極的に取り組んでいる。

① 生徒の①で記入したとおりです。② 生徒に少しでも意識づけを行うために家庭学習週間を設定して、ご家庭にも点検に協力をいただきました。家庭との連携が不可欠だと思っておりますので、今後さらに進めていきたいと考えております。③ 朝の10分間読書に始まり、図書委員会を中心に図書のポップ作りでも2年生の生徒が進んで参加をしています。まだまだ学年での読書活動は道半ばですが、生徒の頑張りも発信していきたいと思えます。

個人のご意見としては「勉強をする意義」を教えてほしいというご意見をいただきました。将来のために今何を大切にするべきか、ということについて考える機会を進路学習などを通し、増やしていきたいと思えます。又、今年の1年生で実施のコリアタウンが2年生ではなぜないのかとのご意見ですが、昨年度より各学年、年に一度の校外での取り組みを行っています。現2年生は1年生で松の浦での飯ごう体験、2年生でのマキノ合宿に取組み、3年生での修学旅行へとつながるものになっています。

生徒の結果とは対照的に、「学校は学年に応じてそれぞれの生き方（卒業後の進路を含む）について考えられるようなキャリア教育を行ってくれている。」の項目では全校の平均を上回りました。今後も、学校便りや、学年便りでさらに情報の発信に努め、より理解が深まるよう取組んでまいりたいと考えております。

3学期に入り、普段から「3年生になったら…」という教師からの言葉がけも増えてきたように思います。また、生徒のみなさんも授業などの様子を見ると、自分の進路への意識の高まりや、授業に向き合う姿勢にも変化が見られるようになってきました。2年生の3学期は3年生の「0学期」です。3年生でよりよいスタートがきれよう、2年生での残りの生活を大切にしましょう。保護者のみなさまにおかれましても、今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※裏面にテスト範囲を載せています。